

津波波形インバージョンにより推定された2007年中越沖地震による 海底上下変動分布と震源過程

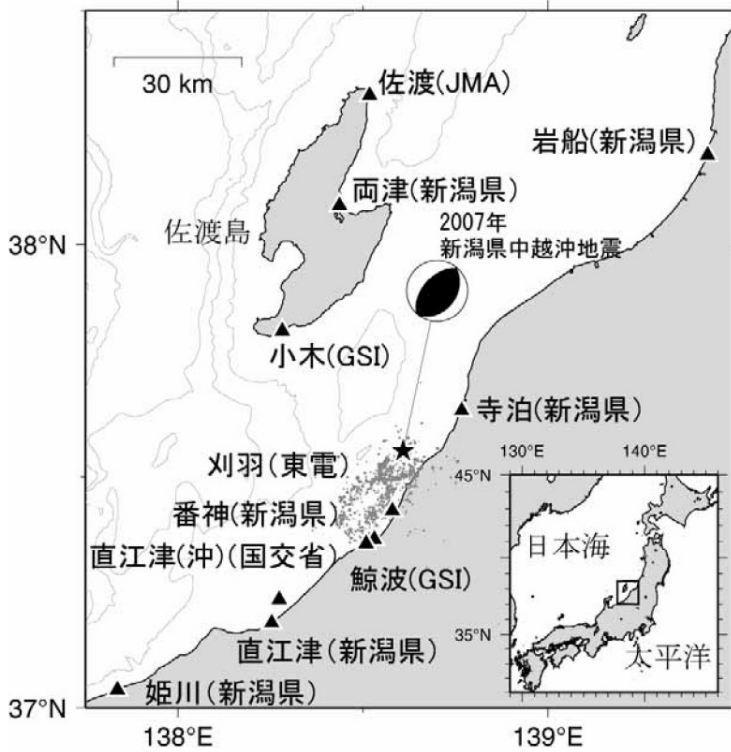


図 2007 年新潟県中越沖地震の震源域
および津波波形計算を行った領域

本震の震央（星印）、およびその発震機構解は気象庁によって推定されたものを用いた。本震発生後 24 時間以内に発生した余震（灰点）は気象庁の一元化震源を用いた。津波伝播計算はこの図の領域すなわち 137°40'-139°30'E, 37°00'-38°30' の範囲で行い、▲印で示された検潮所において波形を出力した。海域に描かれた細線は水深コンターを表し、その間隔は 500 m である。

